

利別川 本別水防拠点 現場説明会の開催

災害時に水防などを行う際の基地となる本別水防拠点が完成し、6月11日（月）午後2時から地元関係者を対象とした現地説明会が開かれ、高橋本別町長をはじめ、町職員、消防、警察関係者ほか、地元住民など50名以上が参加しました。

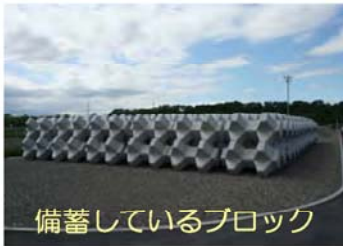


池田河川事務所長による全体説明

本別水防拠点は、平成22年から工事を始め、昨年11月に完成したものです。

中川郡本別町共栄の利別川左岸堤防横に位置し、被災場所に必要な資材を迅速に運び入れることができるよう、約8,500㎡の敷地内に根固めブロック、土のう袋、土砂や砂利などの資材を災害対策用として備蓄しています。

また、災害状況の調査や人命救助の際にヘリコプターの離発着場所として使用するヘリポートも整備しています。



備蓄しているブロック



拠点内のヘリポート

説明会の冒頭、池田河川事務所から水防拠点の機能と役割が話され、続いて、参加者と資材の備蓄状況などを見て回りました。

参加者から災害時に資材を運搬する手段についての質問があり、池田河川事務所では、緊急時の資材の運搬・積み卸しに関する協定を建設業者と締結していると説明しました。



備蓄資材等の見学風景

最後に、高橋町長から「水防拠点の完成は防災対策として喜ばしいこと」とのご挨拶があり、更に、「水防拠点としてだけでなくそれ以外にも有効利用する方法を皆さんと考えていきたい」と締めくり午後2時30分に説明会を終了しました。

帯広開発建設部では本別水防拠点の他に、現在5箇所の水防拠点等を整備して、災害に備えています。



挨拶する高橋本別町長

帯広開発建設部管内 水防拠点箇所図

